

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	900 救急講習会開催事業									
予算科目	01-090101-15 救急業務に要する経費					担当部課	消防本部救急課			
市長公約						係名	救急係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	救急業務実施基準					SDGs	03すべての人に健康と福祉を			

事業の概要

対象	市民									
目的	救急車の現場到着前に適切な応急手当を実施できるバイスタンダーを育成し、救命率の向上を図る。									
概要 (取組内容)	応急手当開催コース 上級救命講習（8時間）、普通救命講習Ⅰ（3時間） 普通救命講習Ⅱ（4時間）、普通救命講習Ⅲ（小児・乳児対象3時間） その他の救急講習及び救命入門コース（90分） 応急手当指導員及び普及員の育成 バイスタンダー（現場に居合わせた人）にサンキューカード（応急手当に対する感謝と応急手当をしたことで不安を感じた場合の連絡先を記載したカード）を配布									

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	1,381	946	1,208	1,348	1,348	
	決算額	(千円)	952	596	934	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	952	596	934	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,601	3,454	3,613	6,907	6,907	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.50	0.50	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	80.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	突然倒れた人や反応のない人を見かけたらバイスタンダー（その場に居合わせた人）による「早期認識と通報」及び「一次救命処置」の応急手当が重要であることを理解してもらう。
企画・立案、計画	個人での受講希望者には、定期講習会を計画し、団体での申し込みにおいては随時適切に対応する。
実行	受講者の人数に合わせて、講師を適切に派遣する。
評価、検証	受講者からの感想やアンケートでの評価を基に検証を実施する。

指標の推移

1	指標名	応急手当講習受講者数（人）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	6,500.0	6,500.0	6,500.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0
	実績	5,791.0	1,101.0	1,719.0	3,294.0	5,197.0	4,625.0
	指標の概要	普通救命講習Ⅰ、普通救命講習Ⅱ、普通救命講習Ⅲ、上級救命講習、救命入門コース、その他の救命講習の受講者数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		受講者数は減ったが、例年同様に感染予防対策を取った上で講習会を実施したことは、市民のニーズに一定数は応えられた。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	083 救急機器整備事業									
予算科目	01-090101-15 救急業務に要する経費					担当部課	消防本部救急課			
市長公約						係名	救急係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	一部委託			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	消防法、救急業務実施基準					SDGs	03すべての人に健康と福祉を			

事業の概要

対象	職員
目的	救急資器材の維持管理を行い、救急活動時に必要な資器材を署・分署に適切に配備する。
概要 (取組内容)	救急活動時に必要な資器材の点検、消耗品等の購入を整備計画に基づいて実施するとともに必要に応じて資器材の修繕を実施する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	9,862	10,252	11,853	10,859	10,859	
	決算額	(千円)	8,474	10,295	11,117	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	8,474	10,295	11,117	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,810	6,907	5,419	6,907	6,907	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	0.75	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	救急自動車の資器材点検と消耗品の補充 (台)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	9.0	9.0	9.0	9.0
	実績	0.0	0.0	9.0	9.0	9.0	9.0
	指標の概要	常時、稼働中の救急自動車8台、日勤時間対応の救急自動車1台、計9台分の資器材点検と消耗品の補充					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		救急活動時に必要な資器材の点検、消耗品等の購入が計画どおりに実施できた。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	茨城県救急医療情報システムの電子化移行により、救急活動用紙等印刷代の見直しが必要である。
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	－	法令等により市の実施が定められている。
優先度	－	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	救急活動を適切に行うためには、継続的に救急資器材の点検、補充を行うことは不可欠である。

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	084 救急教育研修事業									
予算科目	01-090101-15 救急業務に要する経費					担当部課	消防本部救急課			
市長公約						係名	救急係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	消防組織法、救急救命士法施行規則					SDGs	03すべての人に健康と福祉を			

事業の概要

対象	職員
目的	救急業務に携わる職員への教育や研修を行い、医学知識や救急技術の向上を図る。
概要 (取組内容)	病院研修を行うことで、救急業務に携わる職員への医学的な質の向上を行う。 ※令和3年度に「897 各種災害統計事業」から事業を一部移管。令和2年度以前のデータは「897 各種災害統計事業」を参照。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	2,608	2,296	2,014	2,480	2,480	
	決算額	(千円)	2,000	1,910	1,856	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,000	1,910	1,856	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,810	3,454	3,613	6,907	6,907	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	0.50	0.50	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	救急救命士の研修 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	73.0	87.0	96.0	100.0
	実績	0.0	0.0	68.0	77.0	87.0	0.0
	指標の概要	救急救命士数100名。再教育研修(86名)、気管挿管研修(4名)、就業前病院研修(4名)を行う。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		救急救命士再教育研修先医療機関を新たに一つ増やしたことで、24時間連続で実施していた研修を8時間の3日間に変更したことは、研修生の負担軽減につながった。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	-	ニーズが不明である。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	救急業務に携わる職員への教育や研修は、継続的に必要であるため。

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	085 救急自動車更新整備事業									
予算科目	01-090103-15 救急車両に要する経費					担当部課	消防本部救急課			
市長公約						係名	救急係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	救急車両更新整備計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等						SDGs	03すべての人に健康と福祉を			

事業の概要

対象	職員
目的	災害から市民の生命、身体及び財産を保護するとともに、災害等による傷病者の搬送を適切に行う。
概要 (取組内容)	救急需要の増加に応じた救急車両更新整備計画の見直しを定期的に行い、救急自動車の更新を行う。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	41,091	0	45,089	70,090	45,090	
	決算額	(千円)	40,613	0	43,896	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	40,613	0	43,896	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,405	0	5,419	6,907	6,907	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.00	0.75	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	救急自動車の更新 (台)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	2.0	1.0	0.0	1.0
	実績	0.0	0.0	2.0	1.0	0.0	1.0
	指標の概要	令和6年度中に更新予定の救急自動車の台数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		令和6年度予定していた中央高規格救急1号車を予定どおり更新した。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	-	ニーズが不明である。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	車両更新計画に基づき、継続して実施する必要がある。

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	086 救急自動車管理事業									
予算科目	01-090103-15 救急車両に要する経費					担当部課	消防本部救急課			
市長公約						係名	救急係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	一部委託			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	道路運送車両法					SDGs	03すべての人に健康と福祉を			

事業の概要

対象	職員
目的	救急出動に備え救急自動車を常に良好な状態に保ち、的確かつ迅速に対応できる車両の運用を図る。
概要 (取組内容)	救急自動車の車検整備、法定点検及び日常点検を通年実施し、良好な車両状態を保つとともに、必要に応じて修繕を行う。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	10,755	12,249	14,195	13,010	13,010	
	決算額	(千円)	10,841	12,476	11,720	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	10,841	12,476	11,720	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,405	3,454	3,613	6,907	6,907	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.50	0.50	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	救急自動車等の維持管理 (台)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	12.0	12.0	12.0	12.0
	実績	0.0	0.0	12.0	12.0	12.0	12.0
	指標の概要	救急自動車等保有台数12台（高規格救急車9台、非常用救急車2台、普及啓発車1台）					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		救急自動車の日常点検を職員が毎日朝夕の2回実施するとともに、専門業者に依頼し法定点検（6ヶ月法定点検、12ヶ月法定点検）、車検整備を実施したことにより、良好な車両状態を保つことができ、事故防止が図られた。
課題	業務	現在所有する11台の救急自動車のうち2月登録車両が7台あり、車検整備時期が重複している。
	組織、予算等	特になし
改善目標		車検整備時期の重複改善に向けて、可能な限り前年度から事務を進め、12月登録を目指す。

評価

市民ニーズ	-	ニーズが不明である。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	救急自動車を安全に運用するうえで、車両の点検整備は不可欠であり継続的に実施する必要があるため。